進路対策委員会報告書

委員長　斉藤　稔晃

	協　議　題	趣旨説明等	処　理	備　考（調査等資料名）
本年度の協議内容	第１回委員会　７月１日 １　前年度の取組の確認 ２　今年度の取組について	・前年度からの引き継ぎは、中学生に対し県高Ｐ連のＨＰから各高校のＨＰへ進む方法の構築であった。 ・今年度は、在校する高校生や保護者への進路事業を充実させる方策をまとめることとする。	・九高Ｐ連進路対策委員会で、「他校の進路応援事業は何があるのか」「保護者は大学入試や就職試験の制度がわからない」等の意見が出た。 ・コロナ禍での進路関係事業についてまとめることとし、各高校へ取組の調査を行う。	
	第２回委員会　９月１日 １　各学校の進路対策の取組を確認 ２　参考となる取組について、事例報告書の作成を依頼	・各高校から提出された取組を全員で確認する。 ・特に参考となる取組を精選し、詳細な事例報告を作成してもらう。 ・事例報告は、各学校の参考となるよう県高Ｐ連ＨＰに掲載する予定とする。	・提出された取組を、内容ごとに分類し、特に他校の参考になるものをピックアップする。 ・事例報告書の様式を検討・作成し、該当校に作成依頼の文書を発出する。	
	第３回委員会　１２月１日 １　事例報告書について協議	・提出された事例報告書について確認する。 ・県高Ｐ連ＨＰへの掲載について確認する。	・提出された７つの事例報告書について、内容等を協議する。わかりやすい事例報告書になっていた。	
	第４回委員会　２月１日 １　追加の事例報告書の協議 ２　県高Ｐ連ＨＰへの掲載について	・追加で提出された事例報告書の確認を行う。 ・県高Ｐ連ＨＰへの掲載手順について確認する。	・提出された２つの事例報告書について、内容等の確認を行う。 ・各提出校から、県高Ｐ連ＨＰ掲載についての承諾をとる。 ・県高Ｐ連ＨＰ掲載の案内文書を作成する。アドレスとＱＲコードを入れる。	

	事　項	趣旨・内容
役員会への提起事項		

	協　議　題	趣　旨　等
次年度への要望（引継）事項	・コロナ禍以前を含め、進路対策で先進的な取組をしている学校の実践例を集約し直し、各学校が見てわかりやすいように報告様式を工夫する。 ・実践事例を知ってもらえるよう、広報の方法を検討する。	・進路対策委員会単独では実現が難しい内容であれば、他の委員会にも協力を依頼する。